農地中間管理機構関連農地整備事業

土　地　改　良　事　業　計　画　書

上右田南地区
山　　口　　県

土　地　改　良　事　業　計　画　書

第１章　目的 …… 1

第２章　地域及び地積 …… 1
　第１節　地域 …… 1
　第２節　地積 …… 1

第３章　現況 …… 2
　第１節　気象及び海象 …… 2
　　１　一般気象 …… 2
　　２　特殊気象 …… 3
　　３　海象 …… 3
　第２節　土地状況 …… 4
　　１　地形、土壌及び浸食の程度 …… 4 ～5
　　２　土地分類 …… 5
　　３　土地利用の状況 …… 6
　　４　土地所有の状況 …… 7
　第３節　水利状況 …… 8
　　１　用水状況 …… 8 ～11
　　２　排水状況 …… 11 ～13
　　３　河川状況 …… 14
　第４節　道路現況 …… 14
　　１　道路概況 …… 14
　　２　主要道路一覧表 …… 14
　第５節　地域農業の概況 …… 15
　　１　産業別就業人口 …… 15
　　２　経営耕地広狭別農家数及び
　　耕地の分散状況並びに専兼業別農家数 …… 15
　　３　動力農機具及び主要家畜頭数 …… 16
　　４　主要作物作付状況 …… 17
　　５　農業の動向 …… 18
　第６節　地域環境の概況 …… 18

第４章　一般計画 …… 19
　第１節　事業計画の要旨 …… 19
　　１　要旨 …… 19
　　２　事業別面積 …… 19
　第２節　営農計画及び土地利用計画 …… 20
　　１　営農計画の概要 …… 20
　　２　土地利用区分 …… 20
　　３　作付方式 …… 21
　　４　生産計画 …… 22
　　５　労働改善計画 …… 23 ～25
　　６　級地別土地利用区分 …… 26
　　７　土地配分計画 …… 27
　第３節　用水計画 …… 28
　　１　計画基準年 …… 28
　　２　計画かんがい方式 …… 28
　　３　計画用水系統 …… 28
　　４　計画用水量 …… 28 ～29
　　５　水源計画 …… 30 ～33
　第４節　排水計画 …… 34
　　１　計画基準雨量 …… 34
　　２　計画排水方式 …… 34
　　３　計画排水系統 …… 34
　　４　計画排水量 …… 34
　　５　排水対策 …… 35 ～36

６　湛水検討 …… 36
第５節　道路計画 …… 37
１　道路及び索道 …… 37
２　路線配置図 …… 37
第６節　農用地造成計画 …… 38
１　農用地造成計画 …… 38
２　土壌改良 …… 38
第７節　洪水調節計画 …… 39
１　計画基準雨量 …… 39
２　計画洪水量及び調節量 …… 39
３　貯水池 …… 39
４　洪水調節検討 …… 40
５　管理計画 …… 40
第８節　干拓計画 …… 40
第９節　農用地整備計画 …… 41
１　区画整理 …… 41
２　暗渠排水 …… 42
３　客土 …… 43
４　農地保全 …… 43 ～44
第10節　老朽ため池改修計画 …… 44
１　洪水吐改修計画 …… 44
２　堤体補強計画 …… 44
３　取水施設改修計画 …… 44

第５章　主要工事計画 …… 45
第１節　用水施設 …… 45
１　貯水池 …… 45
２　頭首工 …… 45
３　揚水機 …… 46
４　用水路 …… 46
５　その他かんがい施設 …… 46
第２節　排水施設 …… 47
１　排水水門 …… 47
２　排水機 …… 47
３　排水路 …… 48
４　その他排水施設 …… 48
第３節　道路及び索道 …… 48
１　道路 …… 48
２　索道 …… 49
第４節　農用地造成 …… 49
１　農用地造成工 …… 49～50
２　土壌改良 …… 50
第５節　洪水調節施設 …… 51
１　貯水池 …… 51
２　頭首工及び導水施設 …… 51
第６節　干拓施設 …… 52
１　堤防 …… 52
２　潮止め …… 52
３　付属施設 …… 52
４　埋立 …… 52
第７節　農用地整備施設 …… 52
１　区画整理 …… 52 ～53
２　暗渠排水 …… 53 ～54
３　客土 …… 54
４　除礫 …… 54
５　農地保全 …… 55
第８節　老朽ため池改修施設 …… 56
１　貯水池 …… 56
２　堤体補強施設 …… 56

第６章　附帯工事計画 …… 57

第７章　工事の着手及び完了の予定時期　……　57

第８章　環境との調和への配慮　……　57

第９章　換地計画の概要　……　57
　第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方……　57
　第２節　換地区の設定　……　57
　　１　換地区の名称，所在，面積　……　57
　　２　換地区を設定する理由　……　57
　第３節　換地計画樹立の基本方針　……　57
　　１　従前の土地の面積の基準　……　57
　　２　用途別予定地積　……　58
　　３　農用地集団化の方針　……　58
　　４　非農用地の換地方法　……　59
　第４節　土地の評価及び清算の方法　……　59
　　１　評価の方法　……　59
　　２　清算の方法　……　59
　第５節　換地計画樹立の年度計画　……　59
　第６節　換地処分の時期に関する特則　……　59

第10章　事業費の総額及び内訳　……　60

第11章　効用　……　61

第12章　関連する事業　……　62

第13章　現況・計画図面　……　62
　　１　現況平面図
　　２　計画平面図
　　３　主要構造図

第１章　　目　　的

上右田南地区は、ほ場の区画や農道が狭小なことから大型機械の導入が困難であり、水路施設についても経年劣化による機能低下が顕著となっており、耕作条件は極めて非効率な状況となっている。
さらに近年、農家の高齢化等により離農が進行しており、農地の荒廃や担い手不足が危惧されることから、地域農業の再編が地区全体で望まれている。
このため、農業生産基盤の整備を行い、生産効率の向上を図るとともに汎用化された農地の利用集積及び集約化を促進し、持続可能な農業経営構造の確立を目指す。

第２章　　地域及び地積

第１節　　地　　域

（第１表）

事　　業　　名	地　　域
農地中間管理機構関連 農地整備事業	防府市上右田、下右田　地内

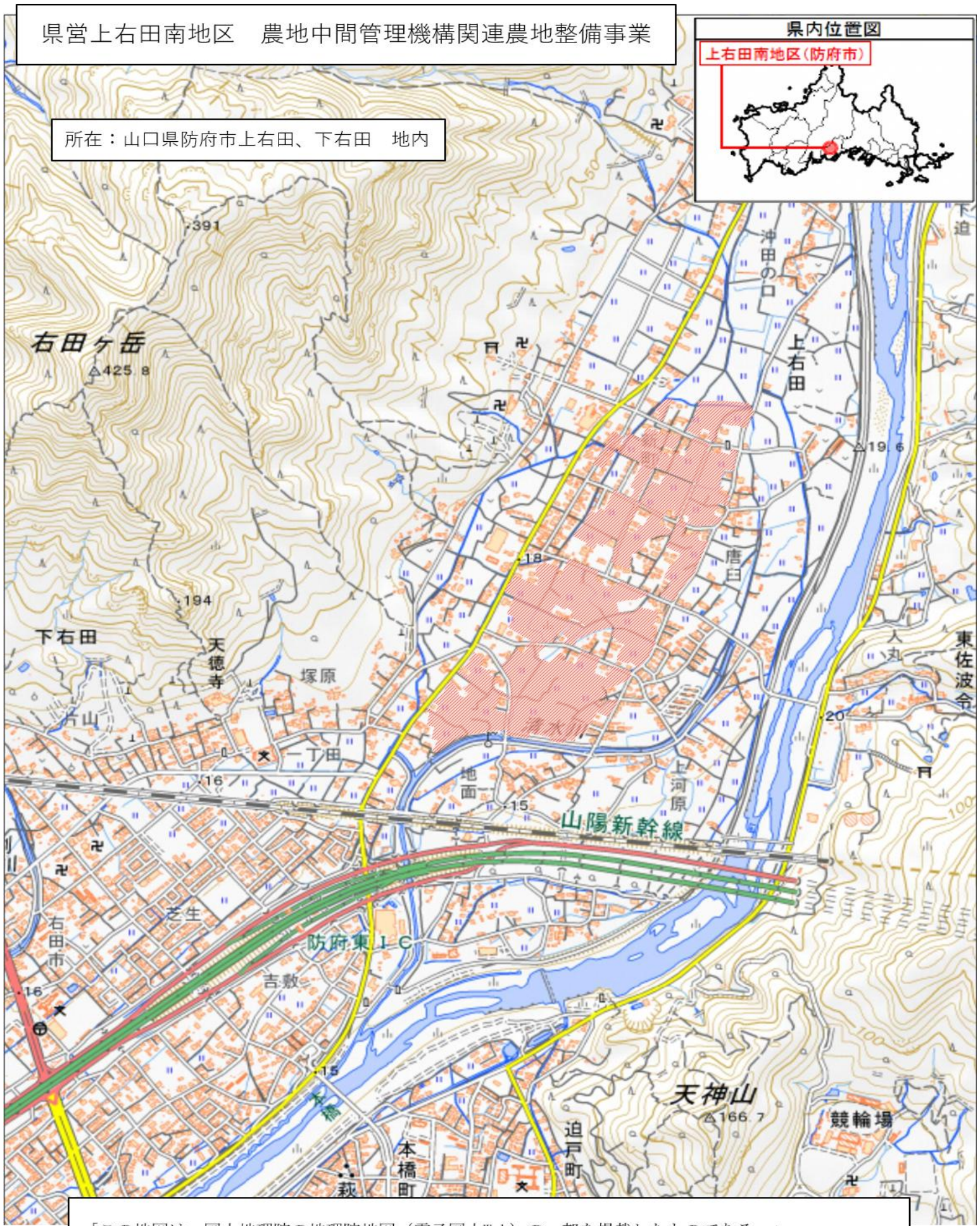
第２節　　地　　積

（令和　7年　12月現在）　（第２表）

事業名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　　考
農地中間管理機構関連 農地整備事業	防府市	23.9	0.1	－	－	1.8	25.8	区画整理
	計	23.9	0.1	－	－	1.8	25.8	
合　　計		23.9	0.1	－	－	1.8	25.8	

県営上右田南地区　農地中間管理機構関連農地整備事業

所在：山口県防府市上右田、下右田　地内



「この地図は、国土地理院の地理院地図（電子国土Web）の一部を掲載したものである。」

第３章　　現　　況

第１節　気象及び海象

1　一般気象

（第３表－１）

観測所名	山口	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備　　考
観測期間	昭和60年～令和6年	４月～ ９月	１０月～ ３月		
平　均　気　温　（℃）		22.2	9.2	15.4	
降 水 量	平　均　　（㎜）	1,386（231）	547（91）	1,933（161）	（）は月平均
	基 準 年　　（㎜）	1,050	371	1,421	令和4年（最大日雨量1/10年相当年）
降水日数	平　　均　　（日）	66（11）	64（11）	130（11）	（）は月平均
	基 準 年　　（日）	55	49	104	令和4年（最大日雨量1/10年相当年）
根　　雪　　期　　間		－			
無　　霜　　期　　間		－			
最　　多　　風　　向		2.5　　m/s 南東	1.9　　m/s	1.3　　m/s 南南西	最多風向発生時期　－ 最大風速発生時期　－

2　特殊気象

（第３表－２）

観測所名 山口	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
観測期間 S30年 ～R6年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量(mm)	297.0	S47.7.11	1/87.7	277.0	H21.7.21	1/53.7	254.5	H25.7.28	1/30.8	247.0	S41.6.30	1/25.5	247.0	H17.9.6	1/25.7	
最大時間雨量(mm)	143.0	H25.7.28	1/4999.9	81.5	H1.8.24	1/25.0	77.0	H21.7.21	1/17.4	74.5	H16.9.7	1/14.3	70.5	R5.7.7	1/10.5	
最大4時間雨量(mm)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
最大連続雨量(mm)	662.0	S60.6.21	1/102.4	568.0	S56.6.25	1/40.6	492.0	R2.7.3	1/19.1	483.0	S32.7.1	1/17.4	479.0	H7.6.30	1/16.7	
最大連続干天日数(日)	29.0	S61.7.23	1/191.8	27.0	R5.10.10	1/73.7	24.0	H2.7.17	1/20.0	24.0	R3.9.18	1/20.0	23.0	S38.7.13	1/13.5	

3　海　　象

（第３表－３）

観測所名	－	既往最高潮位(m)	さく望平均満潮位	上下弦平均満潮位(m)	平均潮位(m)	上下弦平均干潮位(m)	さく望平均干潮位(m)	既往最低潮位(m)	備考
観測期間	－年 ～ －年								
実測値		－ (　　)	－	－	－	－	－	－ (　　)	

第２節　土地状況

１　地形、土壌及び浸食の程度

（第４表－１－１）

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高（m）		備考
	傾斜区分	1/1,000以下	1/1,000～1/300	1/300～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15°		15°～20°	20°以上	計	最高	最低	
											8°～10°	10°～15°						
農地中間管理機構関連農地整備事業	面積（ha）	3.1	6.0	10.0	4.8			23.9	0.1						0.1	16.6	11.8	
	比率（%）	13.0	25.1	41.8	20.1			100.0	100.0						100.0			
合計	面積（ha）	3.1	6.0	10.0	4.8			23.9	0.1						0.1			
	比率（%）	13.0	25.1	41.8	20.1			100.0	100.0						100.0			

（第４表－１－２）

項目 ＼ 土壌統（区）名	土壌統（区）区分一覧表										面積（ha）			備考
	土壌断面								堆積様式	母材	事業名			
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性 表土 一層	土性 下層土 二層	土性 下層土 三層	泥炭層 黒泥層 及びグライ層			農地整備事業 農地中間管理機構関連事業		計	
今出統　今出-2	黄褐色	なし	なし	マンガン点、粒状斑あり	壌質	壌質	－	なし	河成沖積	非固結水成岩	6.1		6.1	
船東統　船東-2	黄褐色	なし	30cm以内から礫層	なし	壌質	砂～壌質	－	なし	河成沖積	非固結水成岩	8.7		8.7	
柿添統　柿添-1	灰色	なし	30～60cm以内から礫層	なし	壌質	砂～壌質	－	グライ層	河成沖積	非固結水成岩	6.8		6.8	
計											21.6		21.6	

（第４表－１－３）

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ侵食の程度				備考
		0	0～25%	25～50%	50%以上	0	3㎜未満	3～5㎜	5㎜以上	中程度のもの		大なるもの		
	面積（ha）													
	比率（%）													

２　土地分類

（第４表－２－１）

級地別 / 市町村名	農用地造成											計	備考
	一級地	二級地				三級地				四級地			
		※	3°～8°	8°～12°	12°～15°	※	15°～20°	20°～25°	25°～30°	※	30°以上		
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
													※は傾斜以外の要因によるもの。
計													

（第４表－２－２）

級地別 / 市町村名	干拓					備考
	一級地	二級地		四級地	計	
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
計						

３　土地利用の状況

（令和　7年　12月現在）　　（第４表－３）

事業名	土地利用別 / 市町村名	耕地						山林		採草放牧地	原野	その他	計	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	樹園地その他の (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農地中間管理機構関連農地整備事業	防府市	23.9	0.1	－	－	－	－	－	－	－	－	1.8	25.8	区画整理
	計	23.9	0.1	－	－	－	－	－	－	－	－	1.8	25.8	
合計		23.9	0.1	－	－	－	－	－	－	－	－	1.8	25.8	

４　土地所有の状況

（令和7年12月現在）（第４表－４）

事業名	所有別 区分	50ａ以下	50～100ａ	100ａ以上		計	備　　考
農地中間管理機構関連 農地整備事業	面　　積（ha）	25.8				25.8	区画整理
	受益者数（人）	105				105	
	筆　　数（筆）	336				336	
	権　利　関　係	所有権、利用権					
	備　　考 （関係戸数）	105				105	
合 計	面　　積（ha）	25.8				25.8	
	受益者数（人）	105				105	
	筆　　数（筆）	336				336	
	権　利　関　係	所有権、利用権					
	備　　考 （関係戸数）					0	

第３節　水利状況

１　用 水 状 況

（１）用水系統

現況用水系統図　参照

（２）用水慣行

6月中旬より代掻きを行い、9月下旬までかんがいする。

（３）用水施設

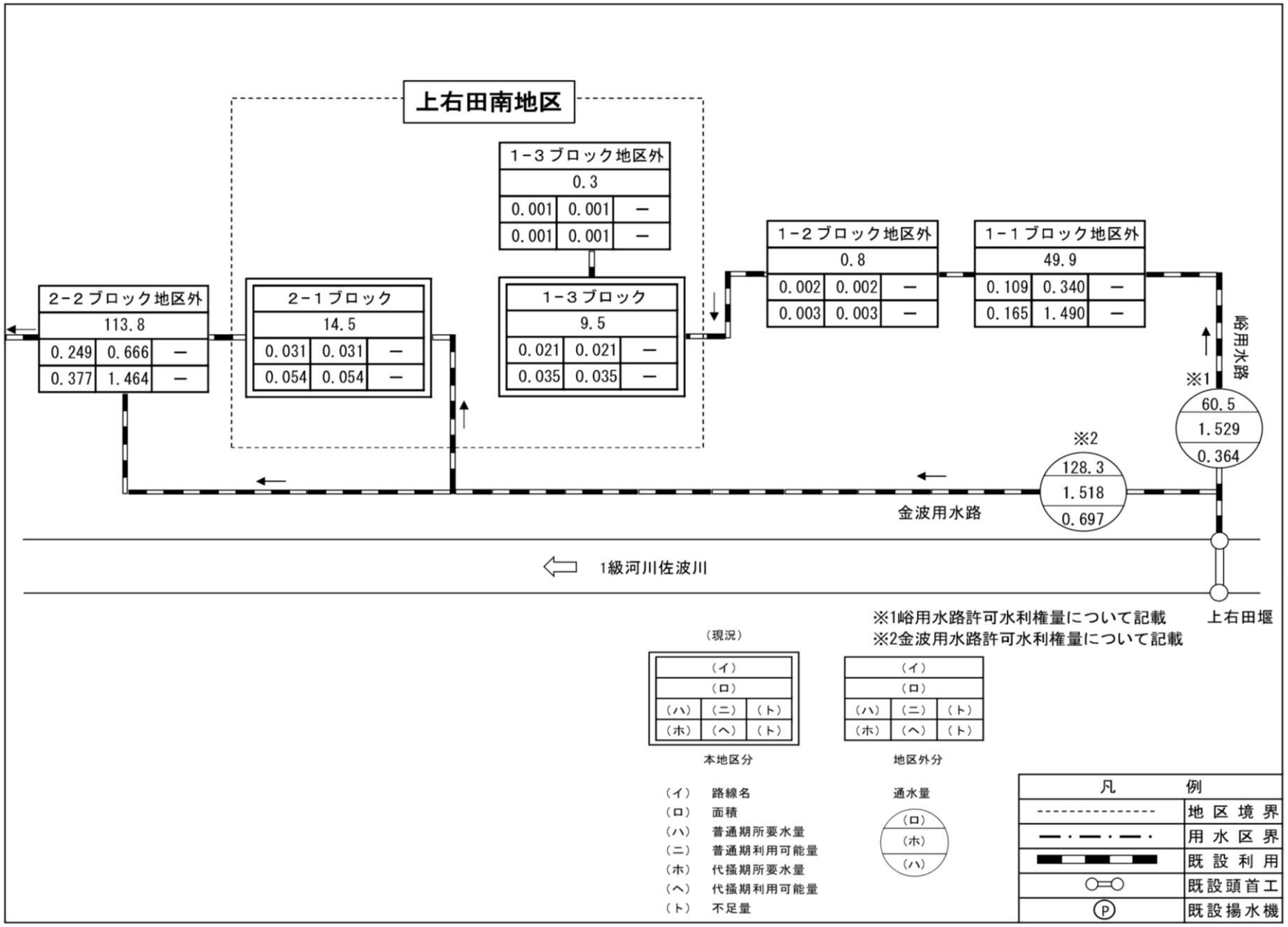
既設利用

（ア）　取水方法一覧表

（第５表－１）

事業名	項目 / 施設名	かんがい面積 10ha以上 箇所	かんがい面積 10ha以上 ha	かんがい面積 10～5ha 箇所	かんがい面積 10～5ha ha	かんがい面積 5ha未満 箇所	かんがい面積 5ha未満 ha	計 箇所	計 ha	水利権 箇所	水利権 m^3/s	慣行水利権 箇所	慣行水利権 m^3/s	延取水量 m^3/s	備考
農地整備事業 農地中間管理機構関連	貯水池														
	井堰	2	24.0					2	24.0	2	0.089				かんがい面積 地区内 24.0ha 地区外164.8ha
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計	2	24.0					2	24.0	2	0.089				
合計		2	24.0					2	24.0	2	0.089				

現　況　用　水　系　統　図


上右田南地区
1-3ブロック地区外
0.3
0.001 0.001 ー
0.001 0.001 ー
1-2ブロック地区外
0.8
0.002 0.002 ー
0.003 0.003 ー
1-1ブロック地区外
49.9
0.109 0.340 ー
0.165 1.490 ー
2-2ブロック地区外
113.8
0.249 0.666 ー
0.377 1.464 ー
2-1ブロック
14.5
0.031 0.031 ー
0.054 0.054 ー
1-3ブロック
9.5
0.021 0.021 ー
0.035 0.035 ー
峪用水路
※1
60.5
1.529
0.364
※2
128.3
1.518
0.697
金波用水路
1級河川佐波川
上右田堰
※1峪用水路許可水利権量について記載
※2金波用水路許可水利権量について記載
（現況）
（イ）
（ロ）
（ハ） （ニ） （ト）
（ホ） （ヘ） （ト）
本地区分
地区外分
（イ） 路線名
（ロ） 面積
（ハ） 普通期所要水量
（ニ） 普通期利用可能量
（ホ） 代掻期所要水量
（ヘ） 代掻期利用可能量
（ト） 不足量
通水量
（ロ）
（ホ）
（ハ）
凡　例
地区境界
用水区界
既設利用
既設頭首工
既設揚水機

（イ）改修を要する施設一覧表

（第５表－２）

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
農地中間管理機構関連農地整備事業	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路	支線用水路	24.0	土水路、現場打水路	－		区画整理	
	その他							
	計							
合計								

（３）　用水に関する被害状況

（ア）用水不足による被害状況

（第５表－３－１）

事業名	項目／系統名	かんがい面積 (ha)	現況必要水量 (千m³)	不足水量 かんがい期最大不足水量 平均 (m³/s)	不足水量 かんがい期最大不足水量 基準年 (m³/s)	不足水量 かんがい期総不足水量 平均 (m³/s)	不足水量 かんがい期総不足水量 基準年 (m³/s)	平均減産量 (t) 作物名	平均減産量 (t) 減産量 (t)	備考
	計									
	計									
合計										

（イ）その他の被害状況

（第５表－３－２）

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温 (℃) 最高	水温 (℃) 最低	水質	被害量 (t)	備考

（４）ため池施設決壊の場合の想定被害状況

（第５表－３－３）

事業名	想定被害面積（ha）				想定被害額（百万円）						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
計											
合計											

２　排水状況

（１）排水系統

現況排水系統図　参照

（２）排水施設

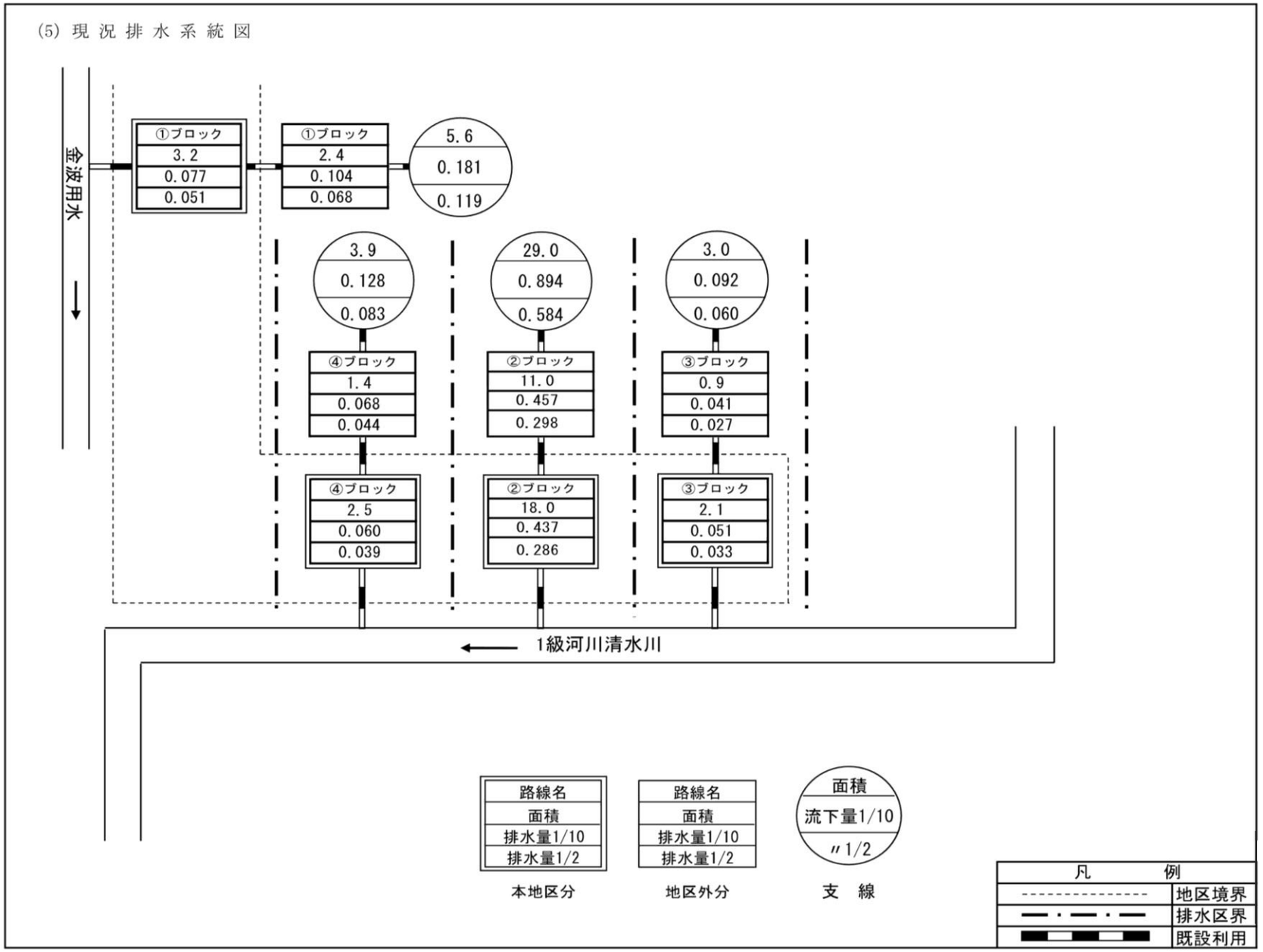
（ア）排水方法一覧表

（第５表－４）

事業名	施設名	項目	排水面積 1000ha以上 箇所	1000ha以上 ha	1000未満～500ha 箇所	1000未満～500ha ha	500ha未満 箇所	500ha未満 ha	計 箇所	計 ha	排水慣行（m^3/s）	現況排水能力（m^3/s）	備考
農地整備事業 農地中間管理機構関連事業	自然	排水路					4	41.5	4	41.5	1.295	－	排水面積 地区内 25.8ha 地区外 15.7ha
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
合計							4	41.5	4	41.5	1.295	－	

現　況　排　水　系　統　図

(5) 現 況 排 水 系 統 図



（イ）改修を要する施設の一覧表

（第５表－５）

事業名	項目 / 施設名		施設名又は箇所数	受益面積(ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
農地中間管理機構関連農地整備事業	自然	排水路	支線排水路	24.0	土水路、現場打水路	－		区画整理	
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計			24.0					
合計				24.0					

（３）排水に関する被害状況

（第５表－６）

事業名	項目 / 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均減産量		備考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m^3)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)	
									乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均														
			基準年														
	計		平均														
			基準年														
合計			平均														
			基準年														

３　河川状況

（１）河川状況

（第５表－７）

項目 河川名	流路状況	勾　　配	断　　面	計画洪水量 （m^3/s）	既往最大洪水量 （m^3/s）	備　　考

（２）洪水に関する被害状況

（第５表－８）

項目 区　分	農　用　地 （百万円）	農用施設 （百万円）	作　　物 （百万円）	公共施設 （百万円）	備　　考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第４節　道路現況

１　道路概況

該当なし

２　主要道路一覧表

（第６表）

Ｎｏ	路線名	管理区分別	延長 （m）	幅員（m）		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			

第５節　地域農業の概況

１　産業別就業人口

（第７表－１）

項目 / 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ｶﾞｽ熱供給水道業 (人)	運輸通信業 (人)	卸売小売業飲食店 (人)	金融保険業 (人)	不動産業 (人)	サービス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
防府市	54,241	1,203	35	86	7	4,366	12,541	271	3,523	7,889	915	661	18,485	3,057	1,202	令和2年　国勢調査
計	54,241	1,203	35	86	7	4,366	12,541	271	3,523	7,889	915	661	18,485	3,057	1,202	
比率(%)	100.0	2.2	0.1	0.2	0.1	8.0	23.1	0.5	6.5	14.5	1.7	1.2	34.1	5.6	2.2	

※各項目における比率は端数調整を行っている

２　経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

（第７表－２）

区分 / 市町村名	農家総戸数 (戸)	販売農家 (戸)	自給的農家 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸) 耕地なし	0.3～未満	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～20.0	20.0～以上	計	1戸当たり平均農用地面積 (ha) 田	畑	樹園地	小計	草地	計	耕地の分散状況 1戸当たり団地数	団地当たり面積 (ha)	専兼業別農家数(戸) 専業	兼業 第一種	兼業 第二種	備考
防府市	1,541	702	839	1	12	209	305	74	29	30	20	20	13	4	717	0.59	0.03	0.02	0.64	0.01	0.65	－	－	－	－	－	
計	1,541	702	839	1	12	209	305	74	29	30	20	20	13	4	717	0.59	0.03	0.02	0.64	0.01	0.65	－	－	－	－	－	
比率(%)	100.0	45.6	54.4	0.1	1.7	29.1	42.6	10.3	4.0	4.2	2.8	2.8	1.8	0.6	100.0	90.8	4.6	3.1	98.5	1.5	100.0	－	－	－	－	－	

※各項目における比率は端数調整を行っている

2020年農林業センサス

３　動力農機具及び主要家畜頭数

（第７表－３）

項目 / 市町村名	動力農機具								主要家畜								備考
	田植機		農用トラクター		コンバイン				乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		
	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）			数量（頭）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	数量（羽）	戸数（戸）	
防府市	－	－	－	－	－	－			x	3	x	4	0	0	x	1	
１００戸当たり数量（台、頭）	－		－		－				－		－		－		－		
利用戸数割合（%）	－		－		－				0.2		0.3		－		0.1		総農家戸数　1,541戸（Ｐ15参照）

2020年農林業センサス

4　主要作物作付状況

（第７表－４）

市町村名			防府市		－		平均	作付率	備考
総耕地面積（ha）			1,940		－		1,940		
総本地面積（ha）			1,700		－		1,700		
区分 / 作物名			作付面積（ha）	単位面積当たり収量（kg/10a）	作付面積（ha）	単位面積当たり収量（kg/10a）	単位面積当たり収量（kg/10a）	（%）	
田	表作	水稲	841	508	－	－	508	49.4	市町単位での畑作物の指標なし
	裏作	小麦	86	451	－	－	451	5.1	
	小計		927		－			54.5	
畑	大豆		3	67	－	－	67	0.2	
			－	－	－	－	－	－	
	小計		3		－			0.2	
樹園地	果樹		－	－	－	－	－	－	
	小計		－		－			－	
計			930		－			54.7	
市町村別延べ作付率（%）			54.7		－				

中国四国農林水産統計データ集（令和4年～）

５　農業の動向

【防府市】　　（第７表－５）

区分	項目	農家			土地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域指定等	備考
			B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の状況（C年を100とする指数）		総農家数	80	63	耕地	88	78	水稲	87	76	乳用牛	－	－	農用トラクター	73	－		A：令和　2年（2020年農林業ｾﾝｻｽ） B：平成　27年（2015年農林業ｾﾝｻｽ） C：平成　22年（2010年農林業ｾﾝｻｽ）
		専業農家数	81	－	田	87	78	大豆	－	100	肉用牛	－	－	動力田植機	71	－		
		第一種兼業農家数	145	－	畑	86	106				豚	－	－	ｺﾝﾊﾞｲﾝ	71	－		
		第二種兼業農家数	76	－	樹園地	107	57				鶏	－	－					
変化の理由		－			耕作放棄地の増加による減			減反政策による見直し			後継者不足による減			－				

第６節　地域環境の概況

（１）気候

気候は、冬は中国山地が季節風をさえぎり、夏は海上からの穏やかな風が吹くことから、瀬戸内特有の温暖な過ごしやすい気候となっている。

（２）地形・地質

地形は、東部に連なる大平山、北部に連なる右田ヶ岳などに代表される山地部と、佐波川の下流に広がる防府平野などで構成される低地部に大別される。

地質は、山地を構成する中・古生代に生成された岩層と、低地を構成する新生代の沖積層に大別される。

（３）水環境

河川は、一級河川が佐波川を含む佐波川水系の15河川、流路延長58.0km、二級河川が新川、柳川など5河川、流路延長13.0km、準用河川が、22河川、流路延長24.3kmとなっている。湖沼としては、山口市との市境に位置する長沢池がある。

（４）植物

市街地の背後に広がる山林や市街地の緑地の大半は、アカマツを主体とした「コバノミツバツツジーアカマツ群集」に区別されることから、常緑の植物を中心とした構成となっている。植物群落は、国の天然記念物に指定されている西浦地区のエヒメアヤメ自生南限地帯がある。

（５）動物

向島に生息するタヌキを初め、アナグマ、ネズミ類、チョウセンイタチ、モグラ、イノシシ、ノウサギ、ムササビなどが生息している。大正15年にタヌキの生息する自然環境の良い生息保護地として向島が天然記念物として指定されている。

（６）景観

主に歴史的、土地利用の状況などの都市的な環境によって形成された景観が挙げられる。

第４章　　一般計画

第１節　事業計画の要旨

１　要　旨

ほ場区画、農道、水路及び水田汎用化対策などの整備を一体的に行う区画整理工を実施する。

（１）区画計画
用排水管理、地形傾斜及び農業機械の作業効率等を考慮して50ａ（100ｍ×50ｍ）を標準区画とする。

（２）道路計画
営農資材の搬入や収穫作物の搬出等に用いるための道路として支線道路（幅員Ｗ＝5.5ｍ）を整備する。

（３）用水計画
揚水機から取水した用水をパイプラインにより各ほ場に配水する。

（４）排水計画
計画排水量を安全に流下させることのできる開水路により整備する。
また、水田汎用化対策として暗渠排水を整備する。

（５）営農形態
小規模農家を中心とした個人完結型から担い手が経営する形態を構築する。

２　事業別面積

（第８表）

事業名	農地中間管理機構関連農地整備事業																計	備考
土地利用区分 / 事業目的	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	果樹園 (ha)	……	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	……	小計 (ha)	(ha)	
区画整理	21.5	0.1	－	－	4.2	25.8	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	25.8	
計	21.5	0.1	0.0	0.0	4.2	25.8	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	25.8	

第２節　営農計画及び土地利用計画

１ 営農計画の概要

農地の大区画化と水田汎用化対策を一体的に行うとともに、用水路等の整備を併せて行うことで、営農効率の飛躍的な向上を図る。
生産条件の向上した農地を担い手である農地所有適格法人１団体及び認定農業者１名へ集積し、水稲、飼料用米、かんしょ、小麦、たまねぎの生産拡大により、持続可能な経営構造の確立を目指す。

２ 土地利用区分

（第９表－１）

事業名	区分＼土地利用区分	水　田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小　計 (ha)	原　野 (ha)	山　林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　　考
農地中間管理機構関連農地整備事業	現　　況	23.9	0.1	－	－	－	－	24.0	－	－	1.8	25.8	区画整理
	計　　画	21.5	0.1	－	－	－	－	21.6	－	－	4.2	25.8	
	現　　況												
	計　　画												
計	現　　況	23.9	0.1	－	－	－	－	24.0	－	－	1.8	25.8	
	計　　画	21.5	0.1	－	－	－	－	21.6	－	－	4.2	25.8	

3 作付方式

（第９表－２）

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目												2年目												3年目												備考
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
農地中間管理機構関連農地整備事業	現況	水稲	水田					○	△	—	—	—	×							○	△	—	—	—	×							○	△	—	—	—	×			
		飼料用米	水田					○	△	—	—	—	×							○	△	—	—	—	×							○	△	—	—	—	×			
		小麦	水田	—	—	—	—	×	×				○	—	—	—	—	—	—	×	×				○	—	—	—	—	—	—	×	×				○	—	—	
		たまねぎ	水田	—	—	—	×								△	—	—	—	×								△	—	—	—	×								△	
		かんしょ	水田			○	—	△	—	—	—	×	×					○	—	△	—	—	—	×	×					○	—	△	—	—	—	×	×			
		かんしょ	畑			○	—	△	—	—	—	×	×					○	—	△	—	—	—	×	×					○	—	△	—	—	—	×	×			
	計画	水稲	輪換耕地					○	△	—	—	—	×							○	△	—	—	—	×							○	△	—	—	—	×			
		飼料用米	輪換耕地					○	△	—	—	—	×							○	△	—	—	—	×							○	△	—	—	—	×			
		小麦	輪換耕地	—	—	—	—	×	×				○	—	—	—	—	—	—	×	×				○	—	—	—	—	—	—	—	×	×			○	—	—	
		たまねぎ	輪換耕地	—	—	—	×								△	—	—	—	×								△	—	—	—	×								△	
		かんしょ	輪換耕地			○	—	△	—	—	—	×	×					○	—	△	—	—	—	×	×					○	—	△	—	—	—	×	×			
		かんしょ	畑			○	—	△	—	—	—	×	×					○	—	△	—	—	—	×	×					○	—	△	—	—	—	×	×			

※作付体系の表示
播種　○－○
移植　△－△
収穫　×－×

4 生産計画

（第9表－3）

計画地目	作物名	作付面積 現況 (ha) ①	作付面積 計画 (ha) ②	作付面積 増減 (ha) ③=②-①	効果要因	効果発生面積 (ha) ④	単収等 現況単収 (kg/10a) ⑤	単収等 10a当り被害防止量 (kg/10a) ⑥=⑪+①(②)	単収等 無被害単収 (kg/10a) ⑦=⑤+⑥	単収等 増収率 (%) ⑧	単収等 10a当り増加量 (kg/10a) ⑨=⑤×⑧	単収等 計画単収 (kg/10a) ⑩=⑤+⑨	生産増減量 単収増 (t) ⑪=④×⑨	生産増減量 作付増減 (t) ⑫=④×⑨	生産物単価 (千円/t) ⑬	増加粗収益額 (千円) ⑭=⑪(⑫)×⑬	年効果額 純益率 (%) ⑮	年効果額 増加純益額 (千円) ⑯=⑭×⑮	年増加所得額 所得率 (%) ⑰	年増加所得額 増加所得額 (千円) ⑱=⑭×⑰
田	水稲	13.7	15.3	1.6	単収増（乾田化）	10.5	505		505	3	15	520	1.6							
					単収増（水管理改良）	13.7	505		505	2	10	515	1.4							
					単収増（ICT導入）	13.7	505		505	11	56	561	7.7							
					小計								10.7		225	2,408	89	2,143	89	2,143
					作付増	1.6	505					586		9.4	225	2,115	－	0	27	571
	飼料用米	2.7	4.0	1.3	単収増（乾田化）	2.7	554		554	3	17	571	0.5							
					単収増（水管理改良）	2.7	554		554	2	11	565	0.3							
					単収増（ICT導入）	2.7	554		554	11	61	615	1.6							
					小計								2.4		18	43	28	12	26	11
					作付増	1.3	554		554			643		8.4	18	151	－	0	－	0
	かんしょ	0.1	0.9	0.8	単収増（乾田化）	0.1	1,267		1,267	12	152	1,419	0.2							
					単収増（田畑輪換）	0.1	1,267		1,267	15	190	1,457	0.2							
					小計								0.4		140	56	92	52	92	52
					作付増	0.8	1,267		1,267			1,609		12.9	140	1,806	31	560	46	831
	小麦	0.1	7.5	7.4	単収増（乾田化）	0.1	442		442	73	323	765	0.3							
					単収増（田畑輪換）	0.1	442		442	15	66	508	0.1							
					小計								0.4		52	21	84	18	81	17
					作付増	7.4	442		442			831		61.5	52	3,198	－	0	－	0
	たまねぎ	0.1	1.0	0.9	単収増（乾田化）	0.1	2,413		2,413	15	362	2,775	0.4							
					単収増（田畑輪換）	0.1	2,413		2,413	15	362	2,775	0.4							
					小計								0.8		100	80	91	73	90	72
					作付増	0.9	2,413		2,413			3,137		28.2	100	2,820	16	451	34	959
	小計	16.7	28.7	12.0												12,698		3,309		4,656
畑	かんしょ	0.1	0.1	0.0	単収増（乾田化）	0.1	1,267		1,267	12	152	1,419	0.2							
					小計								0.2		140	28	92	26	92	26
					作付増	0.0	1,267		1,267			1,419		0.0	140	0	31	0	46	0
	小計	0.1	0.1	0.0												28		26		26
合計		16.8	28.8	12.0									14.9	120.4		12,726		3,335		4,682

※作付増の場合の計画単収は増収率を見込んだ単収とする。

5　労働改善計画

（第９表－４）

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量　(hr/10a) 区分	現況	計画	増減	備考
農地中間管理機構関連農地整備事業	輪換耕地	水稲	10.8	人力	36.2	5.0	△ 31.2	【個人】→【法人】
				機械力	16.2	9.1	△ 7.1	
	輪換耕地	飼料用米	2.2	人力	36.2	5.0	△ 31.2	
				機械力	15.5	8.4	△ 7.1	
	輪換耕地	小麦	7.5	人力	7.1	0.1	△ 7.0	
				機械力	18.2	5.9	△ 12.3※	
	輪換耕地	たまねぎ	1.0	人力	145.0	85.0	△ 60.0	
				機械力	20.6	22.0	1.4	
	輪換耕地	かんしょ	1.0	人力	135.0	40.8	△ 94.2	
				機械力	8.4	15.9	7.5	
	普通畑	かんしょ	1.0	人力	135.0	40.8	△ 94.2	
				機械力	8.4	15.9	7.5	
合計			23.5	人力				
				機械力				

※一部端数調整あり
※面積は本地面積とする

5　労働改善計画

（第９表－５）

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量　(hr/10a) 区分	現況	計画	増減	備考
農地中間管理機構関連農地整備事業	輪換耕地	水　稲	1.3	人　力	36.2	5.0	△ 31.2	【法人】→【法人】
				機械力	14.4	9.1	△ 5.3	
	輪換耕地	飼料用米	1.8	人　力	36.2	5.0	△ 31.2	
				機械力	13.6	8.4	△ 5.3	
合　計			3.1	人　力				
				機械力				

※面積は本地面積とする

5　労働改善計画

（第９表－６）

事業名	項目 / 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a) 区分	現況	計画	増減	備考
農地中間管理機構関連農地整備事業	輪換耕地	水稲	3.2	人力	36.2	5.1	△ 31.1	【認定】→【認定】
				機械力	16.2	9.9	△ 6.3	
	普通畑			人力				
				機械力				
合計			3.2	人力				
				機械力				

※面積は本地面積とする

6　級地別土地利用区分

（第９表－７）

区分 / 級地名 / 土地利用区分		農用地造成（ha）					干拓（ha）					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	（普通畑）											
	（牧草畑）											
	樹園地											
	（果樹園）											
	（桑園）											
その他												
計												

7　土地配分計画

（第９表－８）

項目 区分	配分戸数 （戸）	地目別配分計画（ha）								備考
		田	輪換耕地	畑					計	
				普通畑	牧草畑	樹園地				
増反										
		（　　）	（　　）	（　）	（　）	（　）	（　　）	（　　）	（　　）	
入植										
		（　　）	（　　）	（　）	（　）	（　）	（　　）	（　　）	（　　）	

第３節　用水計画

１　計画基準年

防府観測所の降雨記録（昭和60～令和6年）から、1/10確率相当年次の有効雨量及び連続旱天日数は下記の通りである。

1/10年確率

有効雨量：376.4㎜　　連続旱天日数：24.9日

以上の結果、有効雨量及び連続旱天日数の1/10確率相当年次に最も近い年度を基準年とし、平成2年を基準年とする。

２　計画かんがい方式

パイプラインにてかんがいを行う　　水田(かんがい期：6月～9月、非かんがい期：10月～5月)

３　計画用水系統

計画用水系統図　参照

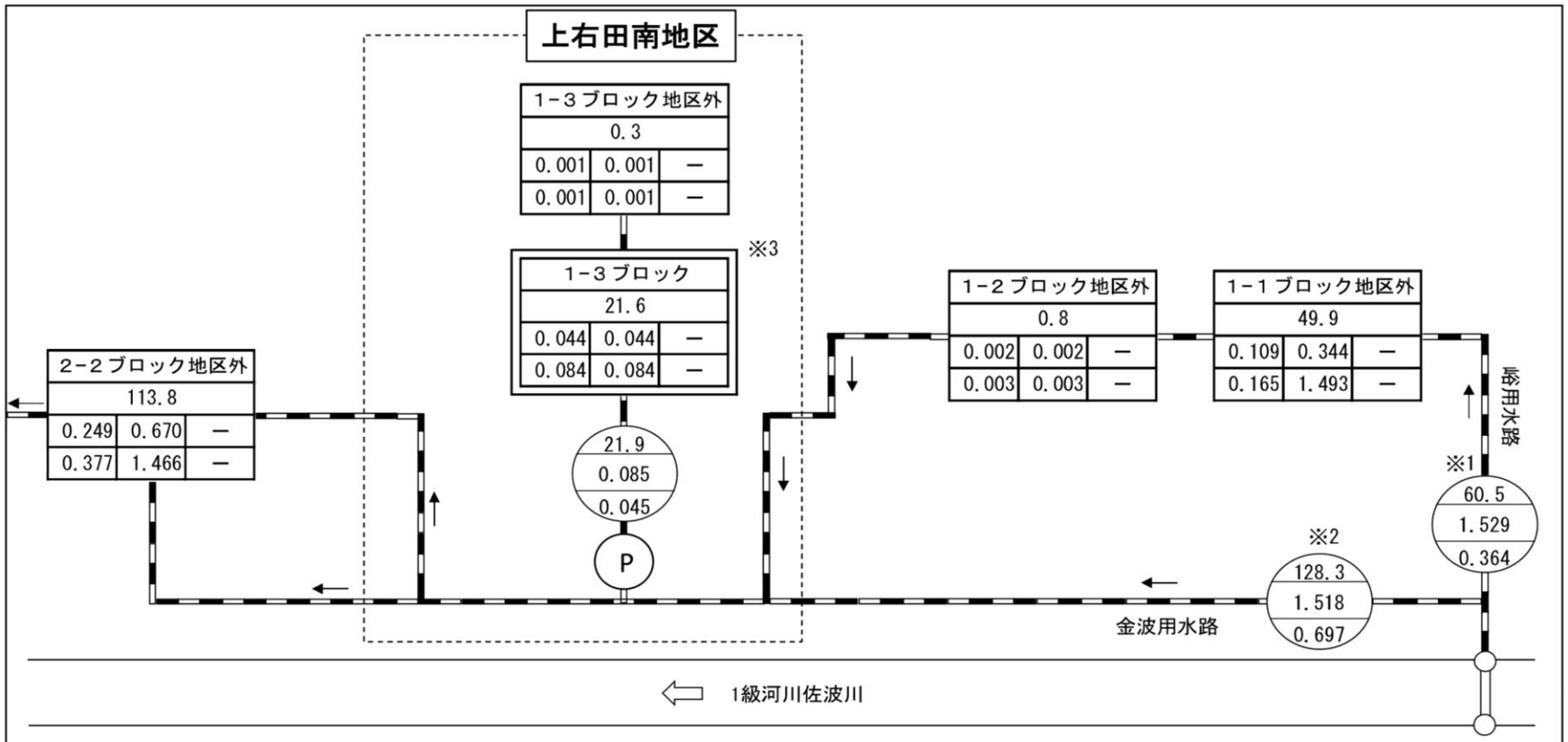
４　計画用水量

（１）　かんがい用水

（第１０表－１－１）

項目／系統名	種別	面積（ha）事業名		水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量	損失率	粗用水量		備考
		農地中間管理機構関連農地整備事業	計	普通期	代かき期														
				計画平均単位用水量 (mm/日)	計画代かき単位用水量 (mm/日)	面積 (ha)	一日当たり平均かん水深計画 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	一日当たり平均かん水深計画 (mm/日)	平均間断日数 (mm)	面積 (ha)	計画平均単位用水量 (mm/日)	面積 (ha)	(m^3/s)	(%)	平均 (m^3/s)	最大 (m^3/s)	
1-3	農業用水	21.9	21.9	13.0	150.0	21.9	－	－	－	－	－	－	－	－	0.077	10	－	0.085	地区内21.6ha 地区外 0.3ha
計		21.9	21.9			21.9												0.085	

計 画 用 水 系 統 図



※3　1−3，2−1ブロックを1-3ブロックに統合する。

1−3ブロック
9.5ha→8.3ha　(ハ)0.017m3/s　(ホ)0.032m3/s

2−1ブロック
14.5ha→13.3ha　(ハ)0.027m3/s　(ホ)0.052m3/s

※1峪用水路許可水利権量について記載
※2金波用水路許可水利権量について記載

（現況）

（イ）		
（ロ）		
（ハ）	（ニ）	（ト）
（ホ）	（ヘ）	（ト）

本地区分

（イ）		
（ロ）		
（ハ）	（ニ）	（ト）
（ホ）	（ヘ）	（ト）

地区外分

（イ）　路線名
（ロ）　面積
（ハ）　普通期所要水量
（ニ）　普通期利用可能量
（ホ）　代掻期所要水量
（ヘ）　代掻期利用可能量
（ト）　不足量

通水量

（ロ）
（ホ）
（ハ）

凡	例
----------	地区境界
―・―・―・	用水区界
■■■■	既設利用
○=○	既設頭首工
Ⓟ	既設揚水機

（２）営農飲雑用水

（第１０表－１－２）

区　　分	利用目的	対象面積（ha）			日当たり給水量		補給回数	関係戸数	備　　考
		事　業　名			単位給水量	最大給水量			
				計	（リットル／日）	（リットル／日）	（回）	（戸）	

5　水源計画

（1）水利用計画

（第１０表－２－１）

区分＼項目		消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
						水源名	取水地点利用可能量	ほ場利用可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量		
		a（千m³）	b（千m³）	c＝a－b（千m³）	$d=\frac{c}{(1-\alpha)}$（千m³）		e（千m³）	f（千m³）	g＝c－f（千m³）	h＝d－e（千m³）		（千m³）		損失率：α
（事業名）														
	計													

（２）　用　水　対　策

（ア）貯水池　　（該当なし）　　（第１０表－３）

項　目 / 貯水池名	流域面積 (km²)		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m³)	利用貯水量 (千m³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m³/s)	備　考
			事業名							
	直接	間接	県営	ー	計					

（イ）井堰及び自然取入口

（第１０表－４）

項目 / 取水施設名	河川名	流域面積 (km²)	かんがい面積 (ha) 事業名 本事業	本事業外	計	取水量（m³／s） 最大	平均	渇水量 (m³／s)	備考
上右田堰	佐波川	－	8.6	51.9	60.5	1.529	0.364	－	峪用水路
上右田堰	佐波川	－	13.3	115.0	128.3	1.518	0.697	－	金波用水路
計									

（ウ）揚水機

（第１０表－５）

項目 / 名称	水源名	かんがい面積（ha） 事業名 本事業		計	所要水量(m³/s) 最大	平均	揚水機 実揚程 (m)	揚水量 (m³／s)	台数 (台)	全揚水量 (m³／s)	備考
上右田南揚水機場（仮）	佐波川	21.9		21.9	0.085	0.045	-1.91	0.085	2	0.085	
計											

（エ）用水路

（第１０表－６）

項目 / 名称	かんがい面積（ha） 事業名 農地中間管理機構関連農地整備事業		計	最大通水量 (m^3/s)	延長 (km)	構造	備考
支線用水路（管水路）	21.9		21.9	0.085	3.560	VU75～300	区画整理
計			21.9		3.560		

（オ）その他の水源施設

該当なし

（３）水温水質

該当なし

第４節　排水計画

１　計画基準雨量

10年確率雨量・・・189.4mm/day
2年確率雨量・・・123.7mm/day

２　計画排水方式

自然排水

３　計画排水系統

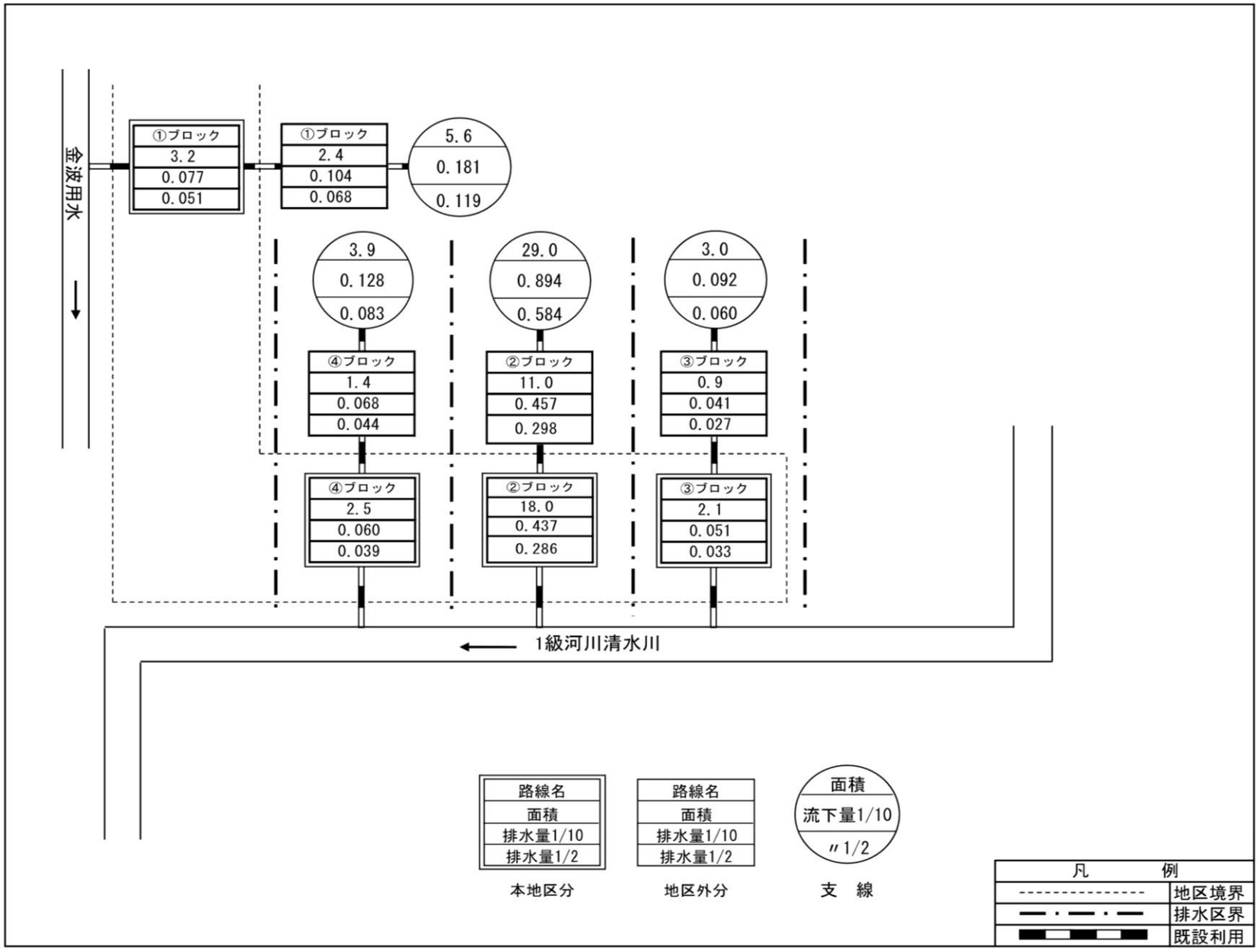
計画排水系統図　参照

４　計画排水量

（第１１表－１）

項目 / 排水系統名	受益面積(ha) 事業名			流域面積(km２)		基準雨量	降雨による直接単位流出量($m^3/s/km^2$)		基底流出量($m^3/s/km^2$)		全排水量(m^3/s)			単位排水量($m^3/s/km^2$)		備考
	農地中間管理機構関連農地整備事業		計	山地	平地	(mm)	山地	平地	山地	平地	山地	平地 自然排水	平地 機械排水	山地	平地	
1	3.2		3.2		0.056	19.33	8.054	4.833	－	－		0.181	－		3.232	支線排水路
2	18.0		18.0		0.290	19.33	8.054	4.833	－	－		0.894	－		3.083	支線排水路
3	2.1		2.1		0.030	19.33	8.054	4.833	－	－		0.092	－		3.067	支線排水路
4	2.5		2.5		0.039	19.33	8.054	4.833	－	－		0.128	－		3.282	支線排水路
計	25.8		25.8		0.415							1.295	－			

計　画　排　水　系　統　図


金波用水
①ブロック
3.2
0.077
0.051
①ブロック
2.4
0.104
0.068
5.6
0.181
0.119
3.9
0.128
0.083
29.0
0.894
0.584
3.0
0.092
0.060
④ブロック
1.4
0.068
0.044
②ブロック
11.0
0.457
0.298
③ブロック
0.9
0.041
0.027
④ブロック
2.5
0.060
0.039
②ブロック
18.0
0.437
0.286
③ブロック
2.1
0.051
0.033
1級河川清水川
路線名
面積
排水量1/10
排水量1/2
本地区分
路線名
面積
排水量1/10
排水量1/2
地区外分
面積
流下量1/10
〃1/2
支　線
凡　例
地区境界
排水区界
既設利用

5　排水対策

（1）排水水門

（第１１表－２）

項目 / 名称	流域面積 (km²)	受益面積 (ha) 事業名		計	計画排水量 排水量 (m³/s)	地区内湛水深 (m)	排水本川 名称	計画洪水量 (m³/s)	計画洪水位 (m)	備考
計										

（2）排水機

（第１１表－３）

項目 / 名称	流域面積 (km²)	受益面積 (ha) 事業名		計	計画排水量 排水量 (m³/s)	地区内湛水深 (m)	排水機 実揚程 (m)	排水量 (m³/s)	台数 (台)	全排水量 (m3/s)	備考
計											

（３）排水路

（第１１表－４）

項目 / 名称	流域面積 (km²)	受益面積 (ha) 事業名			計画排水量 (m³/s)	延長 (km)	構造	排水本川			備考
		農地中間管理機構関連農地整備事業		計				名称	計画洪水量 (m³/s)	計画洪水位 (m)	
支線排水路	0.056	5.6		5.6	0.181	0.650	BF450	金波用水路	－	－	地区内 3.2ha 地区外 2.4ha
支線排水路	0.030～0.290	35.9		35.9	0.092～0.894	4.700	BF450	清水川	－	－	地区内 22.6ha 地区外 13.3ha
計	0.415	41.5		41.5	1.295	5.350					

（４）その他

該当なし

６　湛水検討

該当なし

第５節　道路計画

１　道路及び索道

（１）道路

（第１２表－１）

項　目 路線名	幅（有効）　×　延長 (m)　　(km)	構　　造	既設道路との関係	備　　考
支線道路	5.5(4.5)×2.34	砂利舗装	市道接続	
支線道路	3.5(2.5)×0.11	砂利舗装		
支線道路	5.5(4.5)×0.15	As舗装		
市道	5.5(4.5)×0.58	As舗装	市道接続	市道拡幅
市道	5.5(4.5)×0.08	砂利舗装	市道接続	市道拡幅
計	3.26			

（２）索道

（第１２表－２）

項　目 路線名	能　　力（t/hr）	延　　長（m）	接　続　道　路　名	備　　考

２　路線配置図

路線配置図参照

路　線　配　置　図

種別	記号	路線数	全幅	舗装種類	延長	備考
支線道路（新設）		16	5.5m	砂利	2,340m	
支線道路（拡幅）		1	5.5m	AS	150m	
市道(支線道路)（拡幅）		4	5.5m	AS	580m	
市道(支線道路)（拡幅）		1	5.5m	砂利	80m	
支線道路（新設）		4	3.5m	砂利	110m	
計		26			3,260m	

第６節　農用地造成計画

１　農用地造成計画

（１）農用地造成計画

（第１３表－１）

項　目 土地利用区分	主　要　作　物	自　然　傾　斜	耕　地　の　形　態	標　準　区　画　の　形　状	備　　考

（２）末端道水路配置図

該当なし

２　土壌改良

（第１３表－２）

項目 区分	面　積 (ha)	土　壌 統（区）名	ｐＨ		置換酸度 （Ｙ$_1$）	りん酸吸収 計　数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備　　考
			Ｈ$_2$Ｏ	ＫＣｌ			石灰 （ｔ）	りん酸質 資材（ｔ）	有　機　質 資材（ｔ）	

第７節　洪水調節計画

１　計画基準雨量

該当なし

２　計画洪水量及び調節量

（第１４表－１）

地　　点	流　域 面　積 (km²)	洪　　水 到達時間 (hr)	計　　画 洪 水 量 (m^3/s)	安　　全 洪 水 量 (m^3/s)	必　　要 調 節 量 (m^3/s)	ピーク時 調 節 量 (m^3/s)	ピー ク 時 調節後流量 (m^3/s)	調 節 後 最大流量 (m^3/s)	調節前後の 最大流量の差 (m^3/s)	最大調節量 (m^3/s)

３　貯水池

（第１４表－２）

項　目 貯水池名	流域面積（km²）		計画洪水量 (m^3/s)	貯　　水　　量　（千m^3）			計画調節流量 (m^3/s)	可能調節流量 (m^3/s)	備　　考
	直　接	間　接		有　　効	洪水調節容量	他　目　的			

４　洪水調節検討

（１）河川改修計画との関係

該当なし

（２）洪水調節が下流に及ぼす影響

該当なし

（３）計画基準雨量以外の降雨についての検討

該当なし

５　管理計画

（１）管理機構

該当なし

（２）ダム管理操作上の各種基準

該当なし

（３）洪水調節要領

該当なし

第８節　干拓計画

（第１５表）

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第９節　農用地整備計画

１　区画整理

（１）区画の形状

（第１６表－１）

長辺×短辺 （m）	区　画　面　積 （ha）	全　体　面　積 （ha）	割　　合 （%）	田　　面　　差 （m）	備　　考
100×50	0.50	12.7	58.8%	0.1～0.3	
100×30	0.30	6.1	28.2%	0.1～0.4	
50×30	0.15	2.8	13.0%	0.1～0.6	
計		21.6	100.0%		

（２）表土扱い

（第１６表－２）

面　　積 （ha）	表　土　扱　い　要　否　の　理　由	扱　い　深 （cm）	土　　量 （m^3）	備　　考
21.6	腐植土保持	15	32,400	

（３）末端道水路配置図

該当なし

２　暗渠排水

（１）暗渠排水

（第１６表－３－１）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名 農地中間管理機構関連農地整備事業	土壌統（区）名	基準雨量（mm/日）	単位排水量（ﾘｯﾄﾙ/ｓ/ha）	計画後の地下水位（m）	集水渠出口以下の排水方法	備考
E43	6.8	グライ土壌	－	－	0.4	自然排水	
I83	6.1	黄褐色土壌	－	－	0.4	自然排水	
I84	5.3	黄褐色土壌	－	－	0.4	自然排水	
計	18.2						

（２）心土破砕

（第１６表－３－２）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名		計	土壌統（区）名	土壌硬度	備考
計						

3　客　土

（第１６表－４）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名			土壌統（区）名	減水深(mm/日)		作土の厚さ(cm)		10a当たり客土量(m^3)	土壌の性質		備考
			計		現況平均	計画平均	現況平均	計画平均		受益地(%)	採土地（客土材料）(%)	
計												

4　農地保全

（1）防災林

（第１６表－５－１）

項目 / 区分	最大風速（m/s）	幅（m）	間隔（m）	備考

（2）排水工

（第１６表－５－２）

項目 / 名称	基準雨量（mm/日）	土性	流出率	排水量		備考
				単位排水量（m^3/s/ha）	全排水量（m^3/s）	

（３）侵食（崩壊）防止工　　（第１６表－５－３）

項　目 施設名	位　　置	支配面積 (ha)	機　　能	備　　考

第10節　老朽ため池改修計画

１　洪水吐改修計画

（１）計画基準雨量

該当なし

（２）計画洪水量

該当なし

２　堤体補強計画

該当なし

３　取水施設改修計画

該当なし

第５章　　主要工事計画

第１節　用水施設

１　貯水池

（第１７表－１）

名　　称				位　　置						備　　考
堤　　体	型　　式	流域面積（km²）		堤　　高	堤　　長	堤体積	基盤地盤	貯 水 量（千m³）		
		直　　接	間　　接	（m）	（m）	（m³）	地　　質	総貯水量	有効貯水量	
洪　水　吐	型　　式	洪水量（m³/ｓ）		取水施設	形　　式	取水量（m³/ｓ）	放流施設	型式	放　流　量（m³/ｓ）	

２　頭首工

（第１７表－２）

名　　称				位　　置				備　　考
型　　式	堤　　高（m）	堤　　長(m)			取水位（m）	取水量（m³/ｓ）	附帯施設	
		固　定　部	可　動　部	計				

3　揚水機

（第１７表－３）

項目 名称	位　　置	揚水量 （m^3/ｓ）	揚　　程（m）		揚　　水　　機			原　　動　　機			備　　考
			全揚程	実揚程	型式	口径 （mm）	台数 （台）	型式	動力 （kW）	台数 （台）	
上右田南揚水機場(仮)		0.085	12.0	-1.91	横軸渦巻	φ150	2	電気	11.0	2	

4　用水路

（第１７表－４）

項　目 水路名	かんがい面積(ha)		通水量 （m^3/ｓ）	延長（km）			構　造	勾配	主要構造物	備　　考
	事　業　名			開きょ	トンネル その他	計				
	農地中間管理機構関連農地整備事業	計								
支線用水路	21.9	21.9	－		3.56	3.56	VU75～300	－	－	区画整理 地区内 21.6ha、地区外0.3ha
計	21.9	21.9	－		3.56	3.56				

5　その他かんがい施設

該当なし

第２節　排水施設

１　排水水門

（第１８表－１）

項目 名称	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水路 (m^3/s)	備考
計							

２　排水機

（第１８表－２）

項目 名称	位置	排水量 (m^3/s)	揚程(m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (mm)	台数 (台)	
計											

３　排水路

（第１８表－３）

項目 / 水路名	受益面積（ha） 事業名 農地中間管理機構関連農地整備事業		計	排水量（m^3/ｓ）	延長（km） 開きょ	トンネルその他	計	構造	勾配	主要構造物	備考
支線排水路	41.5		41.5	0.092～0.894	5.35	0.20	5.55	BF450	1/500	－	地区内 25.8ha 地区外 15.7ha
計	41.5		41.5		5.35	0.20	5.55				

４　その他排水施設

該当なし

第３節　道路及び索道

１　道路

（１）道路の総括表

（第１９表－１）

項目 / 区分	路線名	幅（有効）(m)×延長(km)	構造	付帯構造物 名称	構造	数量（箇所）	最急こう配(%)	同左の延長(m)	最小曲線半径(m)	備考
支線道路	－	5.5(4.5)×2.34	砂利舗装	－	－	－	－	－	－	
支線道路	－	3.5(2.5)×0.11	砂利舗装	－	－	－	－	－	－	
支線道路	－	5.5(4.5)×0.15	As舗装	－	－	－	－	－	－	
市道	－	5.5(4.5)×0.58	As舗装	－	－	－	－	－	－	市道拡幅
市道	－	5.5(4.5)×0.08	砂利舗装	－	－	－	－	－	－	市道拡幅
計	－	3.26		－	－	－	－	－	－	

（２）道路主要構造物

（第１９表－２）

項目 / 路線名	名称	規模構造	延長（m）	箇所数（箇所）	備考

２　索道

（第１９表－３）

項目 / 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機 型式	原動機 動力 ( )	備考

第４節　農用地造成

１　農用地造成工

（１）抜根

（第２０表－１）

項目 / 区分	樹種	樹径 (cm)	ha 当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
計						

（２）除礫

（第２０表－２）

項目 / 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m^3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

（３）開墾作業

（第２０表－３）

項目 / 区分		面積 (ha)	工法	備考
地目	造成工法			
計				

（４）地目変換

（第２０表－４）

区分＼項目	面　　積　(ha)	工　　法	備　　考
計			

（５）末端用水路等

（第２０表－５）

区分＼項目	数　　量	規　　模	構　　造	備　　考
計				

（６）末端排水路等

（第２０表－６）

区分＼項目	数　　量	規　　模	構　　造	備　　考
計				

２　土壌改良

（第２０表－７）

区　分＼項　目	面　　積 (ha)	石　灰　量 （ｔ）	りん酸質資材量 （ｔ）	有機質資材量 （ｔ）	備　　考
計					

第５節　洪水調節施設

１　貯水地

該当なし

２　頭首工及び導水施設

（１）頭首工

（第２１表－２）

名　　称			位　　置					備　　考
			堤　　長（m）					
型　　式	集水面積（km²）	堤　高（m）	固 定 部	可 動 部	計	計画洪水位（m）	付帯施設	

（２）導水路

（第２１表－３）

項　目 ／ 水路名	通　水　量（m³/ｓ）	延　　長　（m）			構　　造	勾　　配	備　　考
		トンネル	その他	計			

第６節　干拓施設

１　堤防

（第２２表－１）

項目／名称	形式	延長（m）	構造					現地盤標高（m）		備考
			堤頂標高（m）	盛土幅（m）	盛土標高及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	最低	

２　潮止め

（第２２表－２）

項目／名称	工法	幅員（m）	敷高標高（m）	潮止め堤標高（m）	最大流速（m/s）	床固め構造	備考

３　付属施設

該当なし

４　埋立

（第２２表－３）

項目／区分	面積（ha）	埋立標高（m）	埋立土量（m^3）	施工方法	備考

第７節　農用地整備施設

１　区画整理

（１）区画整理

（第２３表－１）

工区名	面積（ha）	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量（m^3）	面積（ha）	土量（m^3）	
上右田南	21.6	100×50	－	21.6	32,400	

（２）末端用水路等

（第２３表－２）

区分＼項目	数　量	規　模	構　造	備　考
計				

（３）末端排水路等

（第２３表－３）

区分＼項目	数　量	規　模	構　造	備　考
計				

２　暗渠排水

（１）暗渠排水

（第２３表－４－１）

区分＼項目	面積（ha）事業名			集水渠				吸水渠						集水渠出口以下の排水施設			備考
	農地中間管理機構関連農地整備事業		計	勾配	管種	管径(mm)	延長(m/ha)	勾配	管種	管径(mm)	深さ(m)	間隔(m)	延長(m/ha)	名称	構造	数量(m/ha)	
E43	6.8		6.8	－	－	－	－	LEVEL	ｼｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ	50	0.4	4	1,176	－	－	－	
I83	6.1		6.1	－	－	－	－	LEVEL	ｼｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ	50	0.4	4	1,176	－	－	－	
I84	5.3		5.3	－	－	－	－	LEVEL	ｼｰﾄﾊﾟｲﾌﾟ	50	0.4	4	1,176	－	－	－	
														－	－	－	
計	18.2		18.2														

（２）心土破砕　　（第２３表－４－２）

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除 礫量　(m^3/ha)	面　　積 (ha)	工法	備　　考
計					

３　客土　　（第２３表－５）

項　目 区　分	面　　積　(ha) 事　　業　　名			客　入　土　量 (m^3)	土取場土量 (m^3)	運　搬　距　離 (km)	運　搬　方　法	備　　考
			計					
計								

４　除礫　　（第２３表－６）

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除 礫量　(m^3/ha)	面　　積 (ha)	工法	備　　考
計					

5　農地保全

（1）防災林　　（第２３表－７）

項目 区分	幅 （m）	延長 （m）	面積 （ha）	樹種	植栽本数 （本）	備考
計						

（2）排水路　　（第２３表－８）

項目 区分	延長 （m）	流量 （m^3/s）	構造	備考
計				

（3）侵食防止工　　（第２３表－９）

項目 区分	構造	数量	備考

第８節　老朽ため池改修施設

１　貯水池

（第２４表）

名　　称					位　置			
堤　　体	型　式	流　域 （k㎡）	堤　高 （m）	堤　　長 （m）	堤体積 （m^3）	堤頂幅 （m）	貯水量 （千m^3）	備　考
洪水吐	型　式	洪水量 （m^3/ｓ）	規　模 （m）	備　　考	取水施設	型　　式	取　水　量 （m^3/ｓ）	備　考

２　堤体補強施設

（１）法面保護施設

該当なし

（２）漏水防水工

該当なし

第６章　附帯工事計画

該当なし

第７章　工事の着手及び完了の予定時期

地区名	工事着手及び完了の予定時期	備　　考
上右田南	令和9年7月～令和15年3月	

第８章　環境との調和への配慮

受益者・有識者による協議会により環境配慮対策を検討した結果、以下の対策等を実施する。

①濁水流出の抑制
整備区域の下流に沈砂地を設置して下流への濁水流出を防止するなど、工事中の濁水流出（土砂やコンクリート灰汁）を極力抑制する。

②水位低下の回避
水位低下で生息環境に影響が出ないよう状態を監視する。

③騒音・振動の低減
低騒音・低振動型重機を採用する。

④有害な外来種の拡散防止
生態系被害防止外来種や特定外来生物を確認した場合は、工事着工時に有識者と協議して対策を検討する。
重要種を確認した場合は、保護・移動する。（水生動物は地区外上流で流れが緩い場所に移動する。）
侵略的外来種を用いた法面保護は実施しない。（イネ科植物で繁殖力の弱い種の採用を検討する。）

第９章　換地計画の概要

第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方

農家の高齢化と後継者不足により、農地の荒廃や耕作放棄地が顕著となっていることを踏まえ、育成すべき経営体への農地の利用集積及び面的集積を図り、農業経営構造の改善に資するために、換地計画を作成する。

第２節　換地区の設定

１　換地区の名称・所在・面積　　（第２５表－１）

換　地　区　名	換　地　区　の　所　在	面　　積（ha）
全換地区	防府市上右田、下右田	25.8

２　換地区を設定する理由

該当なし

第３節　換地計画樹立の基本方針

１　従前の土地の面積の基準　　（第２５表－２）

換　地　区　名	地　積　の　基　準
全換地区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。 ただし、所有者が資格を有する者（測量士等）の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申出があった場合は、換地委員会において検討し決定する。

2　用途別予定地積　　（単位　：　ha）　　（第２５表－３）

換地区名	用途（取得予定者）／前後	非農用地区域外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一般国公有地	総合計
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施行地域に含める土地（令第１条の９()書き）			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			合計	特定用途用地			異種目換地	創設非農用地					合計	国	県	市町村他	合計		
						土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	計		宅地	その他	計		農業経営合理化施設用地	生活上・経営上必要な施設用地	公用・公共用施設用地	宅地等	計							
全換地区	従前の土地	23.9	0.1	0.0	0.1	0.0	－	0.0	24.1	－	－	－	24.1	0.1	－	0.1	－	－	－	－	－	－	0.1	0.2	－	1.4	1.6	－	25.8
	換　地	21.5	0.1	－	－	－	－	－	21.6	2.5	－	2.5	24.1	0.1	－	0.1	－	－	－	－	－	－	0.1	0.2	－	1.4	1.6	－	25.8
	従前の土地																												
	換　地																												
	従前の土地																												
	換　地																												
合計	従前の土地	23.9	0.1	0.0	0.1	0.0	－	0.0	24.1	－	－	－	24.1	0.1	－	0.1	－	－	－	－	－	－	0.1	0.2	－	1.4	1.6	－	25.8
	換　地	21.5	0.1	－	－	－	－	－	21.6	2.5	－	2.5	24.1	0.1	－	0.1	－	－	－	－	－	－	0.1	0.2	－	1.4	1.6	－	25.8

3　農用地集団化の方針　　（第２５表－４）

換地区名＼区分	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	１戸当たり目標団地数	区画畦畔の取り扱い
全換地区	農用地利用集積促進区域別集団化 地目別、作物別集団化	各人の従前の土地が最も密集した位置を中心に定める	概ね２団地	移動畦畔

４　非農用地の換地方法

（第２５表－５）

区分 換地区名	記号	用　途	非農用地区域の位置の概略	面　　積 （㎡）	換地の手法	換地取得予定者	そ の 他
全換地区	A1	宅地	防府市上右田南森河内	78	特定用途用地換地	従前地土地所有者	
	A2	宅地	防府市上右田大垣内	147	特定用途用地換地	従前地土地所有者	
	A3	宅地	防府市上右田西六師田	159	特定用途用地換地	従前地土地所有者	
	A4	宅地	防府市上右田多屋	548	特定用途用地換地	従前地土地所有者	
	A5	宅地	防府市上右田木船	458	特定用途用地換地	従前地土地所有者	

第４節　土地の評価及び清算の方法

１　評価の方法

標準地よりの増減点方式

２　清算の方法

比例地積清算方式

第５節　　換地計画樹立の年度計画

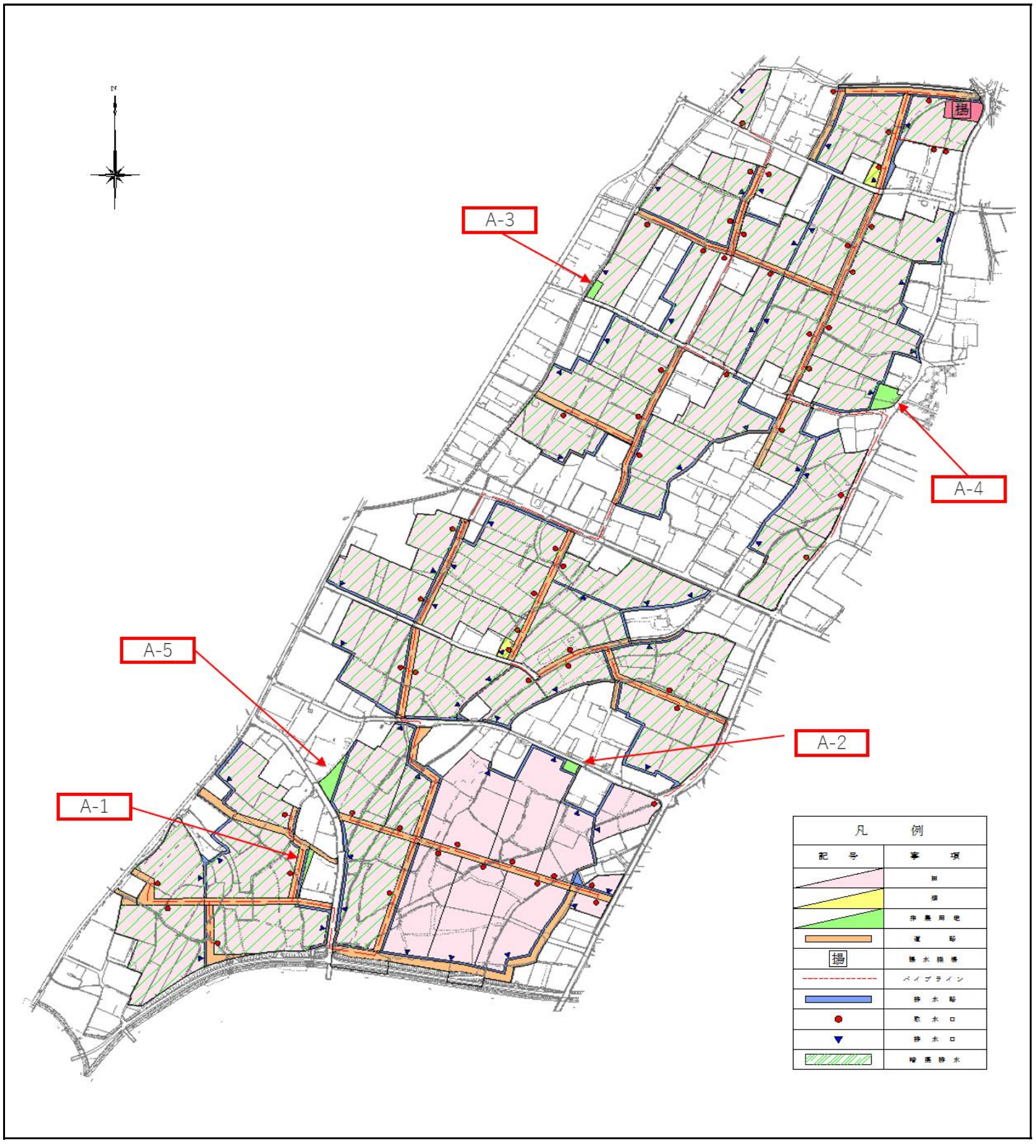
（第２５表－６）

区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備　　考
全換地区	R9～R14	R14	R14	

第６節　換地処分の時期に関する特則

区画整理工事が完了し、確定測量が行われた時は、土地改良法第89条の２第10項において準用する、同法第54条第２項ただし書の規定に基づき換地処分を行うことができる。

非　農　用　地　区　域　位　置　図



第１０章　事業費の総額及び内訳

（第２６表）

区分 ＼ 事業名			農地中間管理機構関連農地整備事業	（千円）	備　　考
農業生産基盤整備	区画整理	整地工	A=21.6ha	258,000	
		道路工	L=3.3km	158,000	
		用水路工	L=3.6km	279,000	
		排水路工	L=5.6km	287,000	
		暗渠排水工	A=18.2ha	81,000	
		小計		1,063,000	
	計			1,063,000	
	測量試験費他			200,000	
	合計			1,263,000	
関連事業					
	計				

区分 ＼ 事業名	農地中間管理機構関連農地整備事業	（百万円）	備　　考
主　要　工　事	1,263		2025年度単価
付　帯　工　事			
計	1,263		
（参考）関連事業			
計			

第１１章　効　　用

（１）年総効果額及び評価期間内の総便益額　（全体）　　（第２７表－１）

効果項目　区　分	年総効果（便益）額	年総増加農業所得額	現況年総農業所得額	評価期間内の便益額	備　考
作物生産効果	3,335	4,682		58,817	
営農経費節減効果	89,025	89,025		1,570,079	
維持管理費節減効果	△ 2,994	2,236		△ 70,622	
耕作放棄防止効果	5			88	
農業労働環境改善効果	2,683			47,316	
国産農産物安定供給効果	3,263			57,548	
合　　計	95,317	95,943		1,663,226	

（２）評価期間内の総費用

1,307,784 千円（＝③）

（３）総費用総便益比及び所得償還率　　（第２７表－２）

区　分		算定式	数　値	備　考
総費用(現在価値化)		③＝①＋②	1,307,784　千円	
	当該事業による費用	①	1,035,248　千円	
	その他費用（関連事業＋資産価額＋再整備費）	②	272,536　千円	
年償還額		④	－　千円／年	
年総効果（便益）額		⑤	95,317　千円	
現況年総農業所得額		⑥	4,388　千円	
年総増加農業所得額		⑦	95,943　千円	
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）			47　年	工事期間7年（R8～R14）
割引率			0.04	
総便益額（現在価値化）		⑧	1,663,226　千円	
総費用総便益比		⑨＝⑧÷③	1.27	≧1.0
総所得償還率		⑩＝④÷⑥	－　%	≦20%
増加所得償還率		⑪＝④÷⑦	－　%	≦40%

第１２章　関連する事業

（第２８表）

区分	事　業　名	事　業　主　体	受　益　面　積 (ha)	事　　業　　内　　容

第１３章　現況・計画図面

１　現況平面図

別図のとおり

２　計画平面図

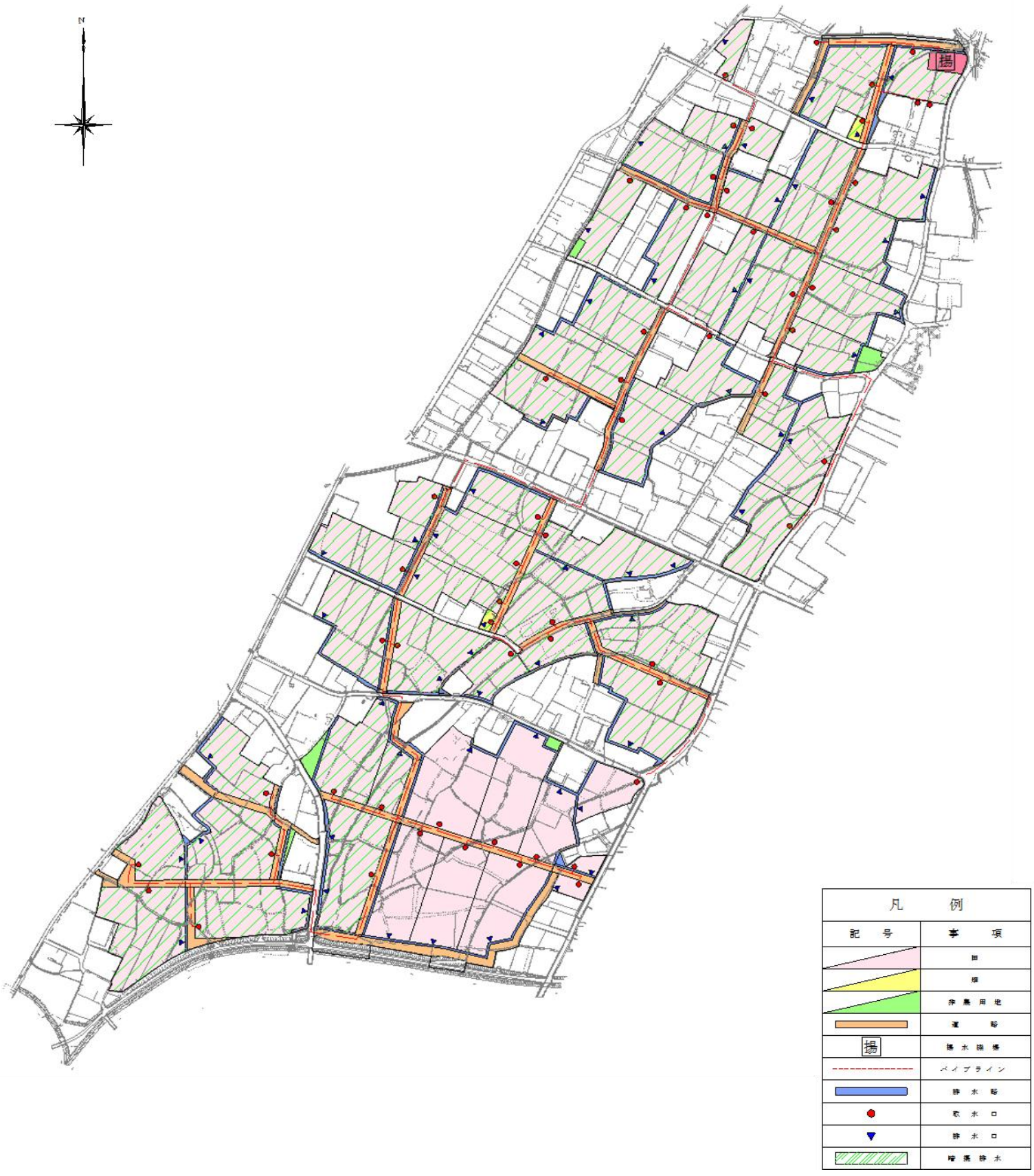
別図のとおり

３　主要構造図

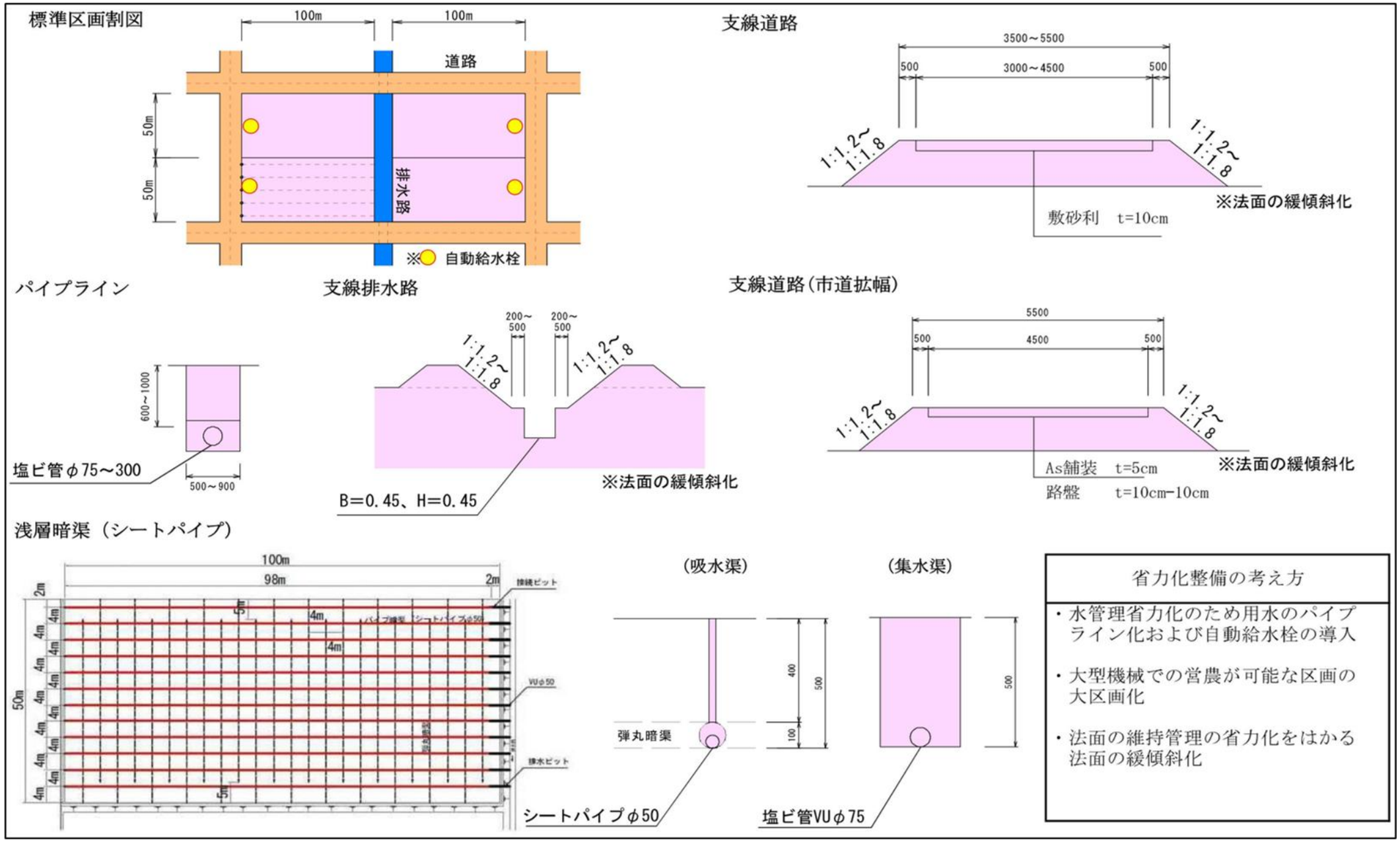
別図のとおり

現　況　平　面　図

計　画　平　面　図



標　準　構　造　図



省力化整備の考え方
・水管理省力化のため用水のパイプライン化および自動給水栓の導入 ・大型機械での営農が可能な区画の大区画化 ・法面の維持管理の省力化をはかる法面の緩傾斜化